

4年生保護者の皆様

丹波篠山市立岡野小学校 校長 杉本 克治

## 4年生『丹波篠山市学力状況調査』の結果について

4月18日に実施しました「丹波篠山市学力状況調査」の結果を報告します。4年生全体としては、国語・算数・理科の3教科とも目標値を上回る良好な結果でした。学力の定着状況をご理解いただき、学習習慣の改善や学校の教育活動に対して支援をお願いします。

問題内容（問題数）		正答率（％）	4年	
			目標値	本校
国語	○成果	作文（4問）	61	△89
	●課題	漢字を書く（4問）	66	▼54
	●課題	せつ明文の内ようを読み取る（3問）	70	▼69
算数	○成果	時こくと時間（3問）	78	△89
	●課題	□を使った式（3問）	65	▼60
理科	○成果	植物の育ち方（3問）	55	△80
	●課題	じしゃくのせいしつ（3問）	60	▼57

※目標値は、学習内容に対して正答できることを期待した児童の割合（点数）です。

### <4年国語>

#### ○成果……作文

3年生の学力状況調査でもよかった「作文」が、今回も正答率が高い結果となりました。無回答の児童もおらず、全員が自分の考えを記述することが出来ました。授業で書く活動を大切にしたり、条件や字数制限に合わせて記述する問題に取り組んだ成果です。

#### ●課題……漢字を書く

「漢字を書く（4問）」の正答率は、53%（目標値66%）でした。3年生までの漢字が十分には定着していないようです。そこで、今後は新出漢字を学習すると同時に、3年生の漢字の復習に力を入れて取り組みます。授業の始めや朝スキルの時間で読み書き、書き順、意味等を丁寧に指導し、継続的に漢字テストを行うことで定着を図ります。

#### ●課題……せつ明文の内ようを読み取る

「せつ明文の内ようを読み取る（3問）」の正答率は、68%（目標値70%）でした。段落内容を把握する問題で誤答が多いです。この結果を踏まえ、説明文の学習では、段落ごとに何の説明がされているかを正しく読み取るように指導していきます。

語彙を豊かにすることを含め、国語力の向上には、学校の授業以外の時間に、本や新聞などを読み、多くの言葉や文字に触れることが大切だと考えています。

【課題のあった問題】

(2) 次の文の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。④は、送りがなも書きましょう。

- ① こうふくな人生を送る。
- ② のうぎようについて学ぶ。
- ③ さかを下る。
- ④ 体調をととのえる。

- ① 「幸福」の正答率は、  
岡野小▼33%、  
目標値 60%
- ② 「農業」の正答率は、  
岡野小▼54%、  
目標値 60%
- ③ 「坂」の正答率は、  
岡野小 78%、  
目標値 75%
- ④ 「整える」の正答率は、  
岡野小▼48%、  
目標値 70%

① 動物は、きけんに出くわしたときに、相手をおどかすような行動をとることがあります。これを「いかく」といいます。

② いかくには、自分のぶきを見せつけて、反げきされるおそれがあることを天てき<sup>※1</sup>にわからせ、おそう気持ち<sup>※2</sup>をくじく目的<sup>※3</sup>のものがあります。たとえば、①カマキリは、最大のぶきであるカマをかかげ、ハネを広げていかくします。

③ また、いかくそのものではありませんが、シカやウシの仲間<sup>なかま</sup>が天てきと出合ったときに高くはねる「ストッピング」という行動も、自分のにげるのう力<sup>りよく</sup>の高さをアピール<sup>※3</sup>して、相手のおそう気持ち<sup>※2</sup>をくじいているのかもしれない。

(2) カマキリをつかまえようとしたら、カマキリがカマをかかけました。この行動には、どのような意味があると考えられますか。上の文章から読み取れることを、次から一つえらんで、その番号を書きましよう。

- 1 自分のぶきをてきに見せつけ、おどかす意味。
- 2 てきがあらわれたことを仲間<sup>なかま</sup>に知らせる意味。
- 3 にげるのう力<sup>りよく</sup>の高さをてきにわからせる意味。
- 4 こうさんしていることをてきにつたえる意味。

【正解】①

(2)の正答率は、  
岡野小▼66%  
目標値 75%

文中の「①カマキリは、最大のぶきであるカマをかか

げ、」とあり、「1」が正解なのですが、そのあとの3段落のシカやウシの内容を受けて「3」を選ぶ児童が多数いました。

## < 4年算数 >

### ○成果……時こくと時間

「時こくと時間（3問）」の正答率は88%（目標値78%）でした。「家から映画館まで45分かかります。午後3時10分ちょうどにつくためには何時何分に出発すればよいですか」といった、所要時間を逆算する問題も確実に正答できており、時間の概念がしっかり形成されています。

### ●課題……□を使った式

「□を使った式（3問）」の正答率は59%で、目標値65%を下回りました。特に大問⑦では半数以上が不正解でした。式が $(\square \times 4 = 12)$ になるお話を選択肢の中から見つける問題ですが、どの選択肢のお話も数字が4と12で形成されているため、誤答が多かったようです。時間がかかっても、選択肢の問題を一つ一つ確実に立式していくことで、正解を導き出すことが出来ます。算数の授業では式を考えたときになぜその式になるのか、式の理由や根拠を話し合う時間を多くとります。

### 【課題のあった問題】

**7** わからない数を□とするとき、式が $\square \times 4 = 12$ になるお話はどれですか。答えは**1**～**4**から1つえらんで、その番号を書きましょう。

**1** あめが何こかあります。4人に同じ数ずつ配ると、1人分は12こになります。

$$\square \div 4 = 12$$

**2** みかんが何こかあります。4こ食べたので、のこりは12こになりました。

$$\square - 4 = 12$$

**3** 画用紙を1人に何まいか同じ数ずつ配ります。4人に配るには、画用紙は12まいひつようです。

$$\square \times 4 = 12$$

**4** 公園に子どもが何人かいます。4人きたので、子どもは全部で12人になりました。

$$\square + 4 = 12$$

1は、すべてのあめの個数が□となり、 $\square \div 4 = 12$

2は、もとのみかんの個数が□となり、 $\square - 4 = 12$

3は、一人分の画用紙の枚数が□となり、 $\square \times 4 = 12$

4は、もともと公園にいた子どもの人数が□となり、 $\square + 4 = 12$ となります。よって、正解は**3**です。

【正解】③

岡野小▼39%

目標値 45%

## <4年理科>

### ○成果……植物の育ち方

「植物の育ち方（3問）」の正答率は79%、目標値の55%を大きく上回る結果となりました。特に植物のからだのつくりと植物の育つ順序については正答率が9割を超えています。これは、ビデオの映像を見るだけでなく、ハウセンカやマリーゴールド、ヒマワリを実際に育て、観察し、絵と言葉で気づきや感想を的確にまとめる学習に取り組んだ成果です。

### ●課題……じしゃくのせいしつ

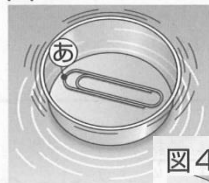
「じしゃくのせいしつ（3問）」の正答率は、56%（目標値60%）でした。特に誤答が多かったのが、以下の9の問題（3）でした。この問題では、磁石の二つの極について理解しているか、方位磁針の仕組みについて理解しているかが問われています。この問題を解いていくためには、磁石にはS極とN極があることと、方位磁針ではN極が北を指すことをわかっていなければなりません。また、側におかれた方位磁針と関連付けて、水に磁石につけた後のクリップ浮かべることによって何が起きているのかを考える必要があります。磁石の極の関係や方位磁針の性質などは実際に手にして自分で考えながらいろいろ試したり、使用したりすることで理解が深まります。今後はより一層、学習の目的（ねらい）を明確にするとともに、実験、観察等の体験活動を大切にしながら、授業を進めていこうと考えています。

## 【課題のあった問題】 9（3）

〔じっけん〕

- ① 鉄のゼムクリップをじしゃくにつけた。
- ② ゼムクリップをじしゃくから外し、**図3**のように、入れ物に入れて水に浮かべ、入れ物をそっと回した。

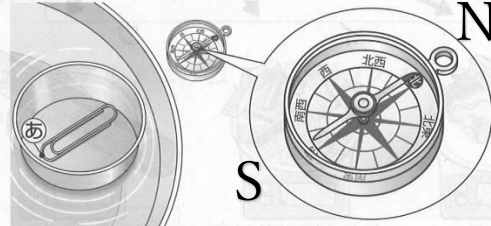
図3



〔けっか〕

図4のように、ゼムクリップが北と南を向いて止まった。

図4



けっかから、どのようなことがいえますか。次の**1**～**4**から1つえらんで、その番号を書きましょう。

- 1** じしゃくにつけたゼムクリップは、じしゃくにはならない。
- 2** じしゃくにつけたゼムクリップは、**あ**の部分がNきょくのじしゃくになった。
- 3** じしゃくにつけたゼムクリップは、**あ**の部分がSきょくのじしゃくになった。
- 4** じしゃくにつけたゼムクリップは、**①**でつけたじしゃくよりも強いじしゃくになった。

【正解】③

岡野小 ▼45%  
目標値 50%

北を向くのはN極なので、誤答で2と4を選択していた児童が多くいました。南の(あ)の部分はS極になります。

よって、正解は3です。